

2015年度 検 索 技 術 者 検 定

3 級試験問題

注意事項

1. 着席したら、受験票を机の上に置いて下さい。
2. 解答用紙の所定の欄に氏名とフリガナを記入し、下の記入例を参照して受験番号を記入およびマークして下さい。
3. 解答時間は、10：30～11：30の60分間です。
4. 中途退席はできません。
5. 問題は14問、7ページ、解答用紙は1ページです。確認の上、落丁・乱丁・印刷不鮮明のもの等がありましたら、手をあげて試験官にお知らせ下さい。
6. 解答は、問題文の指示にしたがい、解答用紙にご記入下さい。
7. 問題の内容に関する質問は一切できません。
8. 試験問題は持ち帰って結構です。
また、受験票を忘れずにお持ち帰り下さい。

記 入 例				
受験番号				
3	1	0	6	8
0	0	●	0	0
1	●	1	1	1
2	2	2	2	2
●	3	3	3	3
4	4	4	4	4
5	5	5	5	5
6	6	6	●	6
7	7	7	7	7
8	8	8	8	●
9	9	9	9	9

問1 次の(1)～(5)の説明にあてはまる最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

- (1) 同一タイトルのもとで終期を予定せず、巻次を追って発行される出版物。雑誌(学術雑誌、一般雑誌)、紀要、新聞、年鑑、白書などがあげられる。
- (2) 第2次世界大戦中に米国を中心に発展し、現在では科学技術やエネルギー、航空宇宙を所管する各省庁の委託研究の調査結果をまとめた報告書である。1論文を1冊子でまとめ、日本では技術報告書と呼ぶ。
- (3) 学会等が開催する会議で会議前の開催案内や会議中の学協会ペーパー、さらには会議後に発行される会議録も含まれる。会議開催場所や回次情報や会議を表す言葉としてconference等が書誌情報として記述される。
- (4) 産業・技術・科学の各分野において、技術の進歩や安全性を確保するために、個々の製品や形状、寸法・単位・用語などを定めた文書のこと。
- (5) 国の政策や社会・経済の実態を国民に周知する目的で国や関係機関が発行・編集した刊行物のことであり、官報や白書、統計(総務省統計局のe-Stat)、有価証券報告書(金融庁提供のEDINET)などがある。

解答群

- | | | | |
|----------|--------------|---------|----------|
| a. 会議資料 | b. 学位論文 | c. 規格資料 | d. 政府刊行物 |
| e. 逐次刊行物 | f. テクニカルレポート | g. 図書 | h. 特許資料 |

問2 次の(6)～(10)の説明にあてはまる最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

- (6) 納本制度により収集した資料(電子書籍を含む)より、国立国会図書館が作成した書誌データ。
- (7) タイトルや責任表示、版表示、出版者、出版年などの書誌情報と、その資料の所在情報(その資料がどこにあるかという情報)の2つを併せ持ったもの。
- (8) 書誌情報と学術論文における重要な内容を要約したものを一定の分野別に収録したリストのことである。主なものとして、世界中の化学文献を対象とした『Chemical Abstracts』や日本では『科学技術文献速報』がある。
- (9) 雑誌掲載論文の原文にたどり着くために、キーワードとして選ばれた重要語と掲載雑誌、巻号、掲載ページなどが記述されたものである。
- (10) 最新号の学術雑誌の目次を多数収録し、分類やタイトル、著者名で並べたリストのことで速報性をもっている。

解答群

- | | | | |
|----------|--------------------|---------|---------|
| a. コンテンツ | b. 索引誌 | c. 参考書誌 | d. 出版年鑑 |
| e. 抄録誌 | f. 全国書誌データ(日本全国書誌) | g. 目次誌 | h. 目録 |

問3 次の(11)～(15)の説明にあてはまる最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

- (11) 安定的に書誌データを供給する仕組みや機関のこと。
- (12) 著者名や異なるタイトルなどをもつ実体を識別するためのデータ要素の集合体を維持管理する仕組みのこと。
- (13) 図書館に関わる国際的な標準や規則を策定・推進する組織。
- (14) データを管理するための構造化されたデータ。
- (15) 雑誌などを管理する国際逐次刊行物番号。

解答群

a. FRAD	b. IFLA	c. ISBN	d. ISSN
e. 検索エンジン	f. 書誌ユーティリティ	g. 典拠コントロール	h. メタデータ

問4 次の(16)～(20)の説明にあてはまる最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

- (16) 利用者が抱えている質問を、図書館員が図書館に所蔵している資料や、図書館がアクセスできる情報資源を用いて回答するサービスのこと。
- (17) 利用者の必要とする情報が自館にない場合、利用者の情報ニーズを満たせる他の図書館又は情報機関を紹介するサービスのこと。
- (18) 最新の情報を継続的に利用者へ提供するサービスのこと。
- (19) エンドユーザーの求めている情報をデータベースなどのコンテンツを搭載した検索ツールを使って、情報検索をする専門家のこと。
- (20) 歴史資料として重要な公文書等についての調査研究を行う専門職員のこと。

解答群

a. アーキビスト	b. アウトリーチサービス	c. カレントアウェアネスサービス
d. 学芸員	e. サーチャー	f. 図書館間相互貸借
g. レファレンスサービス	h. レフェラルサービス	

問5 次の文章の(21)～(25)に入る最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

情報検索という用語は、米国のムーアズ (Calvin N. Mooers) によって1950年に(21)という言葉を用いて初めて定義された。情報検索は(21)の訳語であり、あらかじめ(22)された情報の集合から、ある特定の条件に(23)した情報のみを取り出すことであり、情報の(22)が前提となっている。(24)年代に米国においてコンピュータによる情報検索が開発され、オンラインを通じて検索サービスが提供されるようになったのは、(25)年代に入ってからのことである。また、当時は検索するのは図書館員などの情報をサービスする提供側が行っており、今日のように誰でもが気軽に情報検索ができる時代ではなかった。

解答群

a. 1960	b. 1970	c. 1980	d. 2000
e. information retrieval	f. information search	g. search	h. 合致
i. 削除	j. 蓄積		

問6 次の(26)～(30)の各文章について、正しいものには a を、誤りであるものには b を解答用紙にマークしなさい。ただし、問題中の検索式に使われている「?」は「1文字のみの任意の文字」、「*」は「0文字以上何文字でもよい任意の文字」を表すマスク文字である。

- (26) 「*情報検索」と検索した場合は、前方一致検索と呼ぶ。
- (27) 「cat*」と検索したらヒットしたものに「cat」「cats」「catalog」があった。
- (28) 「?red」と検索したらヒットしたものに「bred」「fred」「acquired」があった。
- (29) 「*情報*」と検索してヒットした件数より、「*情報」と検索してヒットした件数のほうが少なかった。
- (30) 「log?n」と検索した場合は、中間任意検索と呼ぶ。

問7 次の文章の(31)～(35)にあてはまる最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

検索結果の評価基準として、顧客満足度を調査する方法と、(31)と(32)を計算する方法がある。(31)は、データベース中に存在する情報要求に合致する適合情報全体のうち、実際に検索された適合情報の割合を表し、(33)の程度を示す指標となる。(32)は、実際に得られた検索結果の情報全体のうち、どれだけ適合情報が検索されたかという割合を表し、(34)の程度を示す指標となる。

国立研究開発法人科学技術振興機構が作成する文献データベース「JSTPlus」の論文には、「JST科学技術用語シソーラス」による統制語が付与されている。シソーラス中の(35)で検索すると、下位語を含めた検索が可能になり、(33)の少ない検索が可能になる。

解答群

a. 引用数	b. 検索漏れ	c. 再現率	d. サブヘディング
e. 上位語	f. 精度	g. ノイズ	h. フリーターム

問8 次の(36)～(40)の各情報について、インターネットを經由して得るための検索ツールとして最も関連の高いものを解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

(36) 学術文献

(37) 行政資料

(38) 知的財産

(39) 一般雑誌記事

(40) 書籍

解答群

a. CiNii Articles	b. J-PlatPat	c. JapanKnowledge	d. CiNii Books
e. 日本法令索引	f. コトバンク	g. e-Gov	h. WebOYA-Bunko

問9 次の(41)～(45)の各文章について、J-GLOBALに関する記述には a を、Google Scholarに関する記述には b を、解答用紙にマークしなさい。

- (41) 国立研究開発法人科学技術振興機構が提供している検索ツールである。
- (42) 収録範囲は科学技術、人文・社会科学の全分野である。
- (43) 人文・社会科学のキーワードを入れた場合、あまり文献が見つからない。
- (44) 海外の文献については、日本語でタイトルや抄録が収録されているので、日本語で外国文献が検索できる。
- (45) 検索の際、「引用文献を含む」「特許を含む」のチェックをはずすことで件数を減らすことが可能である。

問10 次の文章の(46)～(50)に入る最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

新聞情報源には新聞原紙の他、(46)やCD-ROM版、インターネット版やデータベースがある。新聞原紙は毎日発行されるが、量がかさばるため、図書館などでは保存が困難である。各新聞社では新聞原紙のままの情報を縮刷した(46)やCD-ROM版を発行している。

カレントな新聞記事については、(47)年代に各社で新聞製作の電子化が行なわれたので、それ以降の新聞記事は新聞記事データベースに収録され、タイトルや(48)のことばから検索できる。

新聞記事アーカイブについては、主要な全国紙(朝日、読売、毎日)は、創刊時からの紙面をスキャンにより電子化し、これにキーワードを付与して検索・閲覧できるようにしている。

(49)なので、記事本文だけでなく、(50)や連載小説・マンガも見ることができる。

解答群

a. 1980	b. 2000	c. 拡大版	d. 記事本文
e. 広告	f. 紙面画像	g. 縮刷版	h. 百科事典

問11 次の(51)～(55)の説明にあてはまる最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

- (51) 日本大百科全書(ニッポニカ)、デジタル大辞泉、日本国語大辞典、現代用語の基礎知識、など40以上のコンテンツを収録した有料の事典ツール。作成機関はネットアドバンス。
- (52) 朝日新聞、朝日新聞出版、講談社、小学館などの辞書を無料で検索できる辞書ツール。作成機関は朝日新聞社。
- (53) 最高裁判所、下級裁判所の各判例、知的財産裁判例の全文が無料で検索できる。作成機関は裁判所。
- (54) 1996年以降の世界中のウェブページを収集、保存、提供している。作成機関はInternet Archive。
- (55) 日本国内のウェブサイト、特に国、地方公共団体、大学法人など公的機関のウェブサイトを中心に収集、保存、提供している。作成機関は国立国会図書館。

解答群

- | | | |
|-------------------|---------------|--------------------|
| a. JapanKnowledge | b. WARP | c. Wayback Machine |
| d. 聞蔵IIビジュアル | e. 国立国会図書館サーチ | f. 国会会議録検索システム |
| g. 裁判例情報 | h. コトバンク | |

問12 次の(56)～(60)の説明にあてはまる最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

- (56) 営業秘密の侵害、原産地偽装、模造品・海賊版商品の販売などを規制している法律である。
- (57) 政府が、我が国のサイバー(コンピュータネットワークに関する)セキュリティ推進体制の機能強化を図るため、2005年に設置した組織である。
- (58) 2014年3月に、「2014年版の情報セキュリティ10大脅威」を掲げるなど、情報セキュリティに関する情報を提供している機構である。
- (59) 個人の権利と利益を保護するために、個人情報を取扱う事業者に対して、その取扱い方を定めた法律である。
- (60) 悪意を持って他人のコンピュータに侵入し、データを盗み見たり、プログラムやデータを改ざん・破壊する行為のことである。

解答群

- | | |
|------------|----------------------|
| a. ISO | b. NISC |
| c. クラッキング | d. 個人情報の保護に関する法律 |
| e. ストリーミング | f. 独立行政法人工業所有権情報・研修館 |
| g. IPA | h. 不正競争防止法 |

問13 次の文章の、(61)～(65)にあてはまる最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

マークアップ言語とは、文章構造（見出しや段落など）や体裁（フォントのサイズやスタイルなど）などに関する指示を、文章とともに(61) ファイルとして記述するための言語の総称である。文章に対して構造や体裁などを指示することをマークアップと呼び、マークアップを記述するための文字列を(62)と呼ぶ。

代表的なマークアップ言語としては、インターネットのウェブページの作成に用いられている(63)などがある。

(63)では、パラグラフを表す<p>、文書のヘッダ情報を記述する<h>、(64)を表示する際に使用する、リンク先を指定する際に使用する(65)などの(62)が、あらかじめ決められている。

解答群

a. <a>	b. 	c. HTML	d. OCR
e. XML	f. 画像	g. タグ	h. テキスト
i. バイナリ	j. 太字		

問14 次の(66)～(70)の説明にあてはまる最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

(66) 多くの国々が陸続きで接し合うヨーロッパにおいて、国境を越えて著作権を保護する目的で1886年に締結された。我が国は、1899年に加入した。

(67) 思想又は感情を創作的に表現したものであつて、文芸、学術、美術又は音楽の範囲に属するものをいう。

(68) 複製に制限を掛けるための技術の総称。暗号化、複製禁止（コピーガード）、複製回数制限、再生期間の制限、などさまざまな方法がある。

(69) 全部で4種類（「表示」「非営利」「改変禁止」「継承」）がある。例えば、「非営利」マークがあると、商用では利用できない。「非営利」マークがなく、かつ「改変禁止」マークがなく、かつ「継承」マークがない場合は、クレジット（権利者の名前を表示）すれば、商用でも利用できる。

(70) 著作権、著作権者および著作隣接権の権利を定め、著作物の適正な利用を図る法律。

解答群

a. DRM	b. TCP
c. 引用	d. クリエイティブ・コモンズ・ライセンス
e. 公衆送信権	f. 知的財産基本法
g. 著作権法	h. 著作物
i. 万国著作権条約	j. ベルヌ条約